

令和7年度 大田区立大森東小学校 自己評価 報告書

令和8年3月1日

○ 本校の概要

○開校は昭和57年4月 令和7年度は開校44年目になる。児童数170名(9月現在) 8学級(1～6年1学級、自閉症・情緒障害特別支援学級2学級)、サポートルーム拠点校。
 ○教職員数:教員22名(時間講師含)、特別支援専門員1名、特別支援学級介添員2名、スクールカウンセラー1名、事務(補助員含)2名、栄養士1名、学校特別支援員2名(補助員含)、教育支援員1名、副校長アシスタント1名、読書学習司書1名。
 ○令和6年度より、自閉症・情緒障害特別支援学級を1学級開設した。令和7年度からは2学級となった。
 ○学校にある水田や学校園で地域の指導者の協力を得て、米作りやケナフの栽培に長年取り組んでいる。
 ○令和7年度より、文部科学省教育課程特例校として、「おおたグローバルコミュニケーション(OGC)」や体験学習を通じた国際教育を推進し、多様性を認め合える豊かなグローバル感覚を身に付けた児童の育成に取り組んでいる。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄						
								評価人数	コメント					
生予個 き測別 力難標 をな1 育未成 来社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	【児童アンケート】 「学習をするときに、すすんでタブレット端末を活用している」と肯定的な回答をした児童の割合。(92%)	4: 90%以上	○国際教育、STEAM教育等を教科横断的に実施できるようにカリキュラムを立てて、年間を通して計画的に実施することができた。児童がより主体的に学び、課題解決力を育成できるようにカリキュラムを改善し、授業研究に今後も努めていく。 ○外部講師を活用した環境学習、食育学習、ものづくり学習、地域の公園や施設などを活用した体験学習等を積極的に実施した。活動後は振り返りシートなどを活用して児童が自己評価できるようにした。 ○授業中に児童がタブレット端末を使用する場面を設定したことで、児童が活用する機会は増えた。ICTサポーターの活用や校内での研修会、教員間の活用方法に関する情報交換などを日々行い、教員のICTスキル向上を目指すことで、児童の学力向上へのツールの一つとして活用できるように、引き続き教職員のICTスキルを高めていく。	A	10	・体験学習等を積極的に実施し、活動後は振り返りシートなどを活用して児童が自己評価できるようにした点。 ・児童相互の関わり合いを学習に取り入れ、タブレット等の活用場面を設ける工夫が良いと感じます。 ・評価4を見て、子どもたちがとても満足していることがわかる数字だと思いました。タブレットが入れ替わったことで子どもたちより先生方がご苦労されたと思えます。自分が理解していても他者に伝わるように伝えることはとても難しいことです。改めて子どもたちと日々接し、学びを与えてくださる先生方に尊敬と感謝を申し上げます。ありがとうございます。 ・少人数の学級の特性を生かして細かいたちまで指導が行われている成果と思われる。				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 80%以上90%未満					B	0		
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 70%以上80%未満							C	0
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満								
②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上90%未満	B	0									
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満	C			0								
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満					D	0						
③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							3: 80%以上90%未満	B	0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満		C	0									
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満	D			0								
④外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話を機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					3: 80%以上90%未満	B	0					
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満					C			0				
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満		D	0									
②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上90%未満			B					0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満	C					0						
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満					D		0					
③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上90%未満	B					0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満		C		0								
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満	D					0						
④外国語活動・外国語の授業とOGC・体験活動を通して、英語を活用してのコミュニケーション力を高め、国際社会で活躍できるグローバルな人材の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					3: 80%以上90%未満		B		0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満			C		0							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満		D		0								
○4年生を中心にSDGsの学習に取り組んだ。身近な問題をきっかけにして、学習を進めていく過程で児童の視野を広げ、地球規模の課題について目を向けることができるようになった。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上90%未満					B		0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満	C						0					
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満			D		0							
○道徳教育推進教師を中心に、道徳授業の確実な実施及び授業改善を図ってきた。今後も児童の自己肯定感や自己有用感の向上を図るために、各学年の活動のみならず、学校の教育活動全般で一人一人の活躍の場を確保していく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上90%未満		B					0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満		C				0						
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満	D						0					
○年間を通して、算数の補習を実施できた。児童の実態に応じて、タブレットとプリントを使い分けて学習した。基礎学力の定着に課題があるので、補習のみならず家庭での学習習慣の定着を図れるように家庭への協力呼びかけや、指導方法の工夫改善を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 80%以上90%未満		B			0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満			C	0								
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満		D				0						
○1学期末、2学期末に個人面談を実施し、児童の学習面の成果や課題について直接保護者に伝えて、共有できるようにした。基礎学力に課題のある児童が多いので、一人一人に合った個別支援を行い、既習事項の定着を図っていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上90%未満						B		0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満	C				0							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満			D	0								
○休み時間に校庭に出て遊ぶ児童が少ないのが課題であったため、中休みは児童全員が校庭遊びをするように全校で共通理解を図った。また、「一校一取組」として、持久走月間、長縄チャレンジ月間を設定し、全校一斉で行う体育的活動を今年度も実施し、児童の体力向上を図った。体育の授業で鉄棒やボール運動をした後は、その運動を休み時間に児童が増えるので、児童の授業改善を今後も進めて運動の日常化を目指していく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上90%未満				B		0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満		C					0					
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満	D				0							
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 80%以上90%未満	B					0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満			C			0						
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満		D					0					
○1年生と保育園の交流会を年間2回実施したり、中学校への体験授業に行ったりするなど、保幼小との連携や小中一貫教育を進めている。引き続き必要に応じて情報を共有するなど連携を密にしていきたい。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上90%未満				B			0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満	C			0								
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満			D			0						
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上90%未満					B		0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満		C			0							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満	D			0								
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 80%以上90%未満			B		0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満			C				0					
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満		D			0							
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上90%未満			B					0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満	C					0						
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満			D				0					
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上90%未満			B			0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満		C		0								
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満	D					0						
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 80%以上90%未満				B		0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満			C		0							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満		D		0								
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上90%未満					B		0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満	C						0					
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満			D		0							
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上90%未満		B					0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満		C				0						
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満	D						0					
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 80%以上90%未満		B			0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満			C	0								
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満		D				0						
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上90%未満						B		0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満	C				0							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満			D	0								
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上90%未満				B		0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満		C					0					
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満	D				0							
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 80%以上90%未満	B					0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満			C			0						
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満		D					0					
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上90%未満				B			0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満	C			0								
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満			D			0						
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上90%未満					B		0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満		C			0							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満	D			0								
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 80%以上90%未満			B		0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満			C				0					
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満		D			0							
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上90%未満			B					0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満	C					0						
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満			D				0					
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上90%未満			B			0				
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満		C		0								
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満	D					0						
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等を通して保護者への啓発を進め、学校と家庭が連携して児童の生活習慣の確立を進めていく。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 80%以上90%未満				B		0			
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満			C		0							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満		D		0								
○今年度は学校保健委員会で、学校薬剤師による6年生対象の薬物乱用防止の授業を行った。4年生には歯科校医による歯磨きの授業も行った。3月には管理栄養士を講師に招き、保護者向け講演会も行う。授業や講演会、資料の配付等														

学 校 別 力 目 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	【児童アンケート】 「先生は分かりやすく勉強を教えてくれる」と肯定的な回答をした児童の割合。(96.3%)	4:90%以上	○学校公開での保護者からの授業の評価を、真摯に受け止め、授業改善に努めた。さらなる授業改善を図るために、今後のOJTの充実を計画的に行う。OJTの年間計画を年度当初に作成し、若手教員は自己の課題を明確にして授業を見せ、他の教員から指導・助言をもらう時間を設ける。また、主任教諭や主幹教諭、指導教諭は指導テーマを決め若手教員をはじめ他の教員にも授業を公開した。公開授業後は必ず協議会を行って意見交換をし、よりよい授業づくりを目指した。 ○若手教員指導担当者や若手教員が毎週1時間以上の打合せ等を通して、授業観察の評価や悩み事の相談などを行ってきた。また、担当教員以外も積極的に若手教員の指導に入った。全校で今後も継続していく。	A 10 B 0 C 0 D 0	・都や区主催の研修会の参加など、各教員が授業研究に励み、それぞれ学んだことをOJT研修等を通じて校内に還元し、授業力向上に努めた点。 ・教職員の皆さんのご努力に敬意を申し上げます。 ・保護者向けの東小だよりの学習予定一覧は見やすくわかりやすくして良いと思います。 ・4という数字を見たとき、私もうれしく思いました。先生方のこどものためという視点で創意工夫している結果が96.3%という高い数字で出ていることは素晴らしいことだと思います。大田区の公立保育園も同様です。大変な毎日のなか、若手職員を大切にできた結果も結びついたのだと思います。 ・授業の内容、組み立て方、限りある時間のなかで、とてもよく努力されていると思います。 ・妥当だと思います。 ・日々の教育活動の適切な評価であると思われる。 ・先生方の努力が数値に表れていると思います。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:80%以上90%			
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。		2:70%以上80%未満			
					1:70%未満			
た 自 個 め 分 別 の 目 学 し 標 び く 5 を い き 支 援 い き と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ること、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	【児童アンケート】 「自分にはよいところがある」と肯定的な回答をした割合。(73%)	4:90%以上	○自閉症・情緒障害特別支援学級が2年目を迎え、2学級体制となった。行事や縦割り班活動にも積極的に参加するとともに、通常級との交流学習も計画的に進めることができた。 ○学級集団調査(WEBQU)の面談結果や学校生活調査を教員全体に周知して共通理解した。児童の状況について週1回の生活指導夕会での共有だけでなく、日常的に担任が生活指導主任や管理職と共有することができた。児童が健全な生活を送れるようにするために、引き続き児童の実態把握を確実にし、生活指導夕会やいじめ不登校対策委員会などにて教職員全体で共有して、組織的に指導にあたっていく。 ○今後も児童の自己肯定感や自己有用感の向上を図るために、各学年の活動は勿論、学校の教育活動全般で一人一人の活躍の場を保障していく。また、各種行事や研究授業に限らず、普段の授業等、児童のあらゆる教育活動において、全教職員で意識して、児童の頑張りを良きとして認め、ほめ、励ます機会を多くもつようにした。また、学校内外に関わらず活躍した児童の表彰を全校朝会などの時間を活用して行った。 ○児童のことで悩んでいる保護者には積極的にスクールカウンセラーとの面談を促すようにした。また、必要に応じてスクールソーシャルワーカーとも連携することができた。	A 5 B 4 C 1 D 0	・自閉症・情緒障害特別支援学級が2年目を迎え、2学級体制となった。通常級との交流学習も計画的に進めることができた点。 ・私も日常における生活や物事の教え方に対するカウンセラーは必須だと思います。児童や保護者の相談はどのくらいあるのでしょうか。 ・学校で把握されたアンケート結果等の情報により、一人一人の内面や生活の実情を理解するのは大変なことだと思います。 ・乳幼児期を過ごす保育園の時は、何を大切にしていけばいいのか、共通理解できるのか考えさせられました。この結果になるにはそう思ってしまう児童が多くなるということなので、どうしてそうなのか、保育園の卒園児であれば保護者と園との関係はどうであったのか、自信あふれる毎日を過ごしてもらうために今後には生かせることはないかと思つた。 ・A組のこどもたちも積極的に参加していて、周りも普通に接しているように感じています。もっと評価が高くてよいかもしれません。 ・行事や廊下の掲示物を見て児童の成長は十分感じられ、目標に対する評価は十分達成されていると思われ。児童の評価はさらに上を目指している結果と思う。 ・先生方の関わり方が児童の笑顔になっています。ありがとうございます。 ・とても残念な結果だと思います。先日テレビで日本全体このような結果だというを見ました。学校だけでなく日本全体で取り組むべき課題だと思います。ほめて伸ばす、実行したいですね。
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。		3:80%以上90%			
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2:70%以上80%未満			
					1:70%未満			
安 柔 個 心 軟 別 な で 目 教 創 育 造 6 環 境 な 学 習 空 間 と 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	【保護者アンケート】 学校は児童の健康や安全に留意した教育環境をつくっている。(85.3%)	4:90%以上	○毎月1回の避難訓練を確実に実施している。学級での事前指導を確実に行うことで、児童は真剣に訓練に取り組んでいる。消防署や区の防災課に依頼し、児童を対象とした地震車体験、煙ハウス体験、消火器訓練を実施した。また、警察と連携し、教職員を対象とした不審者対応訓練を夏休み中に実施した。教職員、児童ともに非常時に対する危機意識を高めることができた。引き続き、教職員、児童の意識を高められるように訓練を続けていく。 ○児童一人一台端末を貸与し、多くの授業で活用している。海外体験ルームのマルチスクリーンをOGCの学習以外の理科、社会、図工、総合などの教科・領域や学級活動でも活用し、児童の学習意欲を高めたり、学習効果を上げたりすることができた。今後も教員間で効果的な活用方法を共有し合い、学習効果を高められるようにしていく。	A 8 B 2 C 0 D 0	・毎月一回の避難訓練を確実に実施している点。 ・健康面での取組やコメントがましかつた。 ・できる限りの環境整備や地域資源の活用にも努めていると思います。 ・いろいろ災害があり、昨年実際に大田区は水害被害があった。いろいろな想定をし訓練を実施することで子ども命を守ることに繋がります。次年度は学校と保育園との合同訓練を行うなかでの気付きを得てみたいです。 ・マルチスクリーンは視覚的効果が大きく期待できるものだと感じている。 ・地域と連携しての防災ボランティア等も今後の課題かと思つています。 ・昨年9月の大雨のあと、どこに逃げればよいのかという話題がありました。いろいろと説明してくれている児童もいて心強く思いました。
		②避難訓練や安全指導日などを通して、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:80%以上90%			
					2:70%以上80%未満			
					1:70%未満			
学 地 学 個 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 ク ユ 庭 7 リ ニ ・ ま テ 地 す イ 域 の 核 連 と 携 し ・ て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	【児童アンケート】 「地域の行事やサマースクールやオータムスクールを楽しみにしている」と肯定的な回答をした割合。(77.4%)	4:85%以上	○学校ホームページの東っ子ダイアリー、東っ子ポスト、学年ページ開設等、学校の教育活動を保護者や地域に積極的に紹介することに努めた。 ○緊急時の連絡するための学校緊急連絡システムへの保護者の加入については、個別対応をしながら加入者数を増やし、ほぼ全保護者の加入が済んだ。今年度から導入されたtetoruも運用前にほとんどすべての家庭で登録させることができた。今後も未加入や転入の保護者に個別対応を継続していく。 ○団地まつり、大森神社例大祭などの地域行事に多くの児童が参加していた。今後も学校からも地域の行事を周知していき、積極的に参加するように働きかけていきたい。 ○スクールサポートおひきによるサマースクールにおいて地域人材を活用することで、児童がさまざまな体験活動を行うことができた。また、家庭科のミンを使う学習や調理実習などにもスクールサポート大東のボランティアの方に、児童の支援をしていただくことで、児童の学習がより充実したものになった。 ○地域教育連絡協議会を年間4回開催し、地域の方々からの意見をなるべく反映できるようにしてきた。また、毎回の学校公開や運動会などの学校行事後のアンケートや学校評価アンケートにある保護者の意見も真摯に受け止めてきた。2月より学校運営協議会を発足し、地域の声をより一層取り入れ、地域の力、特色を生かした教育活動を進めている。	A 5 B 4 C 1 D 0	・団地祭り、大森神社例大祭など地域行事に多くの児童が参加した点。 ・スクールサポートではいつも大変お世話になっております。サマースクールやオータムスクールにおいては参加する児童が限られているような感じに見受けられるため、全児童が何かしら参加してもらえるように考えたいと思う。 ・評価の難しい目標ですが、地域の様々な方が学校運営に協力的である地域と思います。引き続き一緒に活動する機会を大切にしていきたいと考えております。 ・家庭環境が大きく影響しているのだと思う。保護者の興味関心意欲がなければ参加につながらない、自園の保護者を見ていて思っています。 ・tetoruは登録方法や情報は得られやすいと思う。 ・地域教育連絡協議会はとても楽しみに参加させていただけました。多くの学びを得ることができました。学校の顔である校長先生、副校長先生の人柄故と思う数多くの配慮があり、参加させていただき感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。 ・学校はしっかり対応してくれているが、地域の我々の努力が足りないと感じる。もっと高評価でもよいと思った。 ・学校・家庭・地域の協働は地道な取組が必要で、成果が見えにくいと思いますが、確実にこどもたちには浸透していると思われまふ。 ・地域行事等への参加など声かけをいただけて感謝しています。サマースクールにおいては先生方の御協力なしでは成し得ません。ありがとうございました。 ・今後も児童館も地域連携には力を入れていきたいと思つています。どうぞよろしくお願ひいたします。
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:80%以上85%			
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2:70%以上80%未満			
					1:70%未満			

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数